



公園、文化センター、観光スポット等は総て、ジェノバのウォーターフロントに新たな息吹を吹き込むためのプロジェクトの一部であり、都市を一層海に近づける。Francesca Meloni氏が報告する。

ウォーターフロントでの生活

Life on the waterfront

今後数年間、ジェノバのウォーターフロントと都市部は共に変化していく。活気と魅力によく留意し、景観、環境に重点を置いた、調和的で一貫した開発が進められてきた。その再活性化は、地域住民、観光客、ビジネス客全てのために、都市と港湾の関係をどの様に緊密にできるかを示している。

まちの改良プロジェクトには、Voltri から Multedo と Sestri、Molo Vecchio から Fiera

までの 22km の海岸線に面した公園や緑地の開発計画が含まれている。これが完成すると、まちと海がより一層近いものになる。Ponte Parodi 地区は、クルーズ船の旅客ふ頭やターミナル等の拠点になり、乗船客はまちの中心部にダイレクトにアクセスできるようにになる。他にも、観光スポット、文化スポットがウォーターフロントに配置されることとなっている。

ジェノバ市の研究機関であるアーバン・ラボは、現在、戦略的な都市プロジェクト、インフラ、港湾と環境の改善、そして歴史文化遺産を統合した計画に基づいて実施されているまちの転換について分析を進めている。このアーバン・ラボは、ジェノバ出身の建築家 Renzo Piano の経験を活かすこともできる。

アーバン・ラボが取りまとめた持続可能な発展に向けた基本原則は、都市構造の転換のためのガイドラインとなる。まちと自然環境の変わり目が「緑の線」と「青い線」でそれぞれ示されることになる。

このプロジェクトは、ウォーターフロントと交流のあるまちの再生の姿を模索する都市にとって重要なお手本になるはずである。

ジェノバのウォーターフロントの再開発は、コロンブスのアメリカ大陸発見500周年記念事業の一部として、1992年に開始された。Renzo Piano は、Piazza Caricamento、Palazzo San Giorgio (St George 宮殿)の敷地、ジェノバ・ポートオーソリティの本部ビルから Ponte Parodi とシティ・ドックまで広がる地域で構成される Port Antico (旧港)の再開発を行った。旧港地区は、港湾機能がまちの西側にシフトした 1920 年から 1940 年の間と第二次世界大戦後に港湾機能がまちの西側にシフトして以降、実際上ずっと使われなくなっていた。

「海を取り戻すまち」が Piano によるプロジェクトの背後にあるキーコンセプトであった。この計画ではまた、この地区に 92 年のジェノバ博覧会が終了以降もまちに恩恵をもたらすことのできる施設を造り、まちから完全に隔離されていた地域を 1 年中利用で、また人々が楽しむことができる地区へと転換することとなっていた。

プロジェクトは、ジェノバ水族館や Bigo と呼ばれる展望エレベータ等の新しい施設の整備することにより、Magazzini del Cotone (綿を保管する倉庫) や Millo 地区の改良と近代化を行った。また、来訪者を魅了し近隣の歴史的中心街を再活性化させるレクリエーション・文化プロジェクトや社会的取り組み、ビジネス活動と共に、わずか数年の間に新たなインフラの整備を行った。

その結果、Porto Antico (旧港) 地区は、1000 年の歴史を持つまちの中心にある近代的な広場として生まれ変わり、狭い路地に新たな活気を与え、増大する観光嗜好の推進力となり、海と歴史的中心街を結びつけた。その中心的な施設は水族館であり、年間 150 万人の利用者を数える。この施設は、ジェノバの観光産業の推進力であり続けている。

Magazzini del Cotone (旧コトーネ倉庫) は 19 世紀中頃に商業取引の増加に対応するため、1869 年に建設されたものであり、この後の数十年の間、ジェノバ港に蒸気船

で運ばれてきたたくさんの綿花を保管するために用いられた。現在では文化活動や経済活動の魅力的な中心地となっている。Piano による再開発後は、この建物にはイタリアで最も有名な多目的展示施設の一つであるジェノバのコンファレンスセンターができています。

これらの古い倉庫群には、イタリア最大で全てを備えた子供用施設である Citta Dei Bambini(子供のまち)等の文化施設がある。この施設には、青少年用の Edmondo De Amicis 国際図書館も入っており、この分野ではヨーロッパで最も近代的で最も専門的な図書館である。また、マルチ・シアター・コンプレックス、ミュージック・ストア、2つのショッピング・モールと多数のバーやレストランも入居している。

Molo Vecchio 地区は、観光客用マリーナや Teatro Piscina(シアタースイミングプール)を介して海に直接アクセスすることが出来る。シアタースイミングプールは、ポンツーン構造になっており、夏の間は昼間に水泳プール、夜に劇場として利用される。Arena del Mare は野外コンサートやパフォーマンスのための市内で最も魅力的な広場のひとつとして、2000 年より人々に利用されている。

Piazza delle Feste の引張構造で作られたアイススケート用のリンクでは、人々は海の岸辺でアイススケートを楽しむことができ、12 月から 3 月まで営業している。他の季節は、ショーや展示、スポーツイベントに利用されている。

今後数十年の間、ジェノバは大港湾としてだけでなく、ウォーターフロント全体を巧みに再生し、それにより経済発展の機会が生まれる港湾都市かつ魅力的で生き生きとした都市としてあり続けるであろう。

ジェノバ港概要

ジェノバ港の面積は700万m²でその海岸線延長は20km
コンテナ貨物や非コンテナの固体バルク、液体バルク用に13のターミナルがあり、道路・鉄道のネットワークと接続している。

一般貨物	2,970	総コンテナ数	185万TEU
コンテナ貨物	1,880	入港船舶数	7,880隻
在来貨物	1,090	出港船舶数	7,848隻
固体バルク	600		
液体バルク	2,150		
鉱物油	2,050		
其他液体バルク	100		
バンカー及び補給品	150		
合計	5,870		

(抄訳者:国土交通省港湾局 振興課 専門官 井上 岳)

(校閲:五洋建設株式会社 常務執行役員 大内 久夫)